

## 令和5年度事業計画

3年にも及ぶコロナ過で何度も経済活動は縮小され、人々の行動や生活が多くの規制を受けるなど、withコロナの日常が続き、身近な所でも感染者や濃厚接触者が見受けられ、会員の就業停止やリモート会議など活動の自粛も強いられておりましたが、徐々に緩和されつつあります。そのような状況下においても、「高齢者の生きがいがづくり」をサポートできるよう会員の拡大、就業機会の確保に努めてまいります。

会員の高齢化の問題もありますが、一人一人に向いている仕事やできる範囲での仕事を意識して、ご紹介するようにしております。また、お客様の要望に応えられるように、会員のスキルアップを図っていきたいと思います。

「新鮮野菜市」を楽しみにしているお客様並びに生産者会員には、今年度も開催ができるように感染症対策をしっかりと行い、準備をしていきたいと思います。

会員への特典として、ポイントカードを浸透させ、一会員一就業先運動やボランティアへの参加、講習会への参加を積極的に行なって頂き、会員及び役職員共に魅力を感じるシルバーであるよう努めたいと思います。

以上の目標を持って、下記の事業運営を行います。

### 1 組織運営体制強化

コロナ感染の収束はいまだ見通せませんが、受注金額は回復傾向にあり会員増強が課題となっております。

#### (1) 会員増強

- ・町広報誌を活用した新規会員の獲得
- ・女性限定入会説明会の開催
- ・ハローワーク金沢及びハローワーク津幡での高齢者向け説明会の継続
- ・講習会と連携した会員入会の促進
- ・魅力のあるチラシ作り

#### (2) 事務局体制強化

- ・役員・会員で構成された専門委員会による事業運営の取り組み
- ・県内外のシルバー人材センターにおける運営状況をリサーチし、フィードバックできるか検討
- ・事務作業の効率化

#### (3) 会員による自主運営確立推進

- ・職群班・地域班など将来の組織構築を見据えた、資質・技量のある会員養成
- ・技術技能分野の後継者育成
- ・専門委員会による事業企画

## 2 就業機会の開拓

自主財源確保対策の最重要課題として、受注活動の拡大に努めます。

- ・ ホームページ及びスマホの活用による周知
- ・ 石川県シルバー人材センター連合会と連携した技能講習会参加への推進
- ・ デジタル推進委員によるスマホ教室を開催し、デジタル化を推進
- ・ 内灘町及び内灘町社会福祉協議会、地域包括支援センターとの連携
- ・ 内灘町と連携した「空き家管理業務」の周知及びふるさと納税返礼における「お墓清掃代行サービス業務」の周知

## 3 安全・適正就業に関する意識・知識の向上

会員各自が、「自分の命は自分で守る」という安全に対する認識を定着させ、事故0件センターを目標とする。

- ・ 各作業班による朝礼・終礼の徹底（現場指示、注意事項の伝達等）
- ・ 安全・適正就業委員会を中心とした現場パトロールの強化
- ・ ヘルメット、カラーコーン、安全ベストなど保安用具使用の徹底
- ・ 「いきいき通信」を活用した安全就業の啓発・情報発信
- ・ 「安全ワッペン」の普及徹底
- ・ 「適正就業ガイドライン」の遵守

## 4 普及啓発活動

コロナ禍において、引き続き人との接触が制限されるため啓発グッズの手渡しなどができない中での普及活動となります。

- ・ コロナ対策を講じての「新鮮野菜市」開催によるシルバーPR
- ・ 普及啓発月間中における除草ボランティア他PR活動（10月）
- ・ ポイントシステムと連携した一会員一就業先開拓運動の継続実施
- ・ 折込チラシによるシルバー事業の周知
- ・ シルバーの活動内容をお知らせする「わくわく情報局」の発行

## 5 その他

- ・ 内灘町シルバー人材センターの特色を生かした新規事業の模索
- ・ 加工品販売に向けた調査継続
- ・ 家事福祉援助サービスの拡大
- ・ 派遣事業の拡大
- ・ インボイス制度の方向性を会員へ周知